



砂取小だより

No. 8

R 5. 7. 19

熊本市立砂取小学校
校長 竹原 欣哉

「いい感じ」(規律) 「お先にあいさつ」(礼節) 「やってみよう」(挑戦)



環境学習にゲストティーチャー(4年生:7月12日)

西部クリーンセンターの方々に来ていただき、「ごみとリサイクル」について学びました。熊本市のごみ出しのルールについて確認したり、分別クイズで分別の仕方を学習したりしました。

「まぜればごみ、分ければ資源」の合言葉を心にとめ、ごみの減量に努めなければ、と子どもたちも感じてくれたようです。

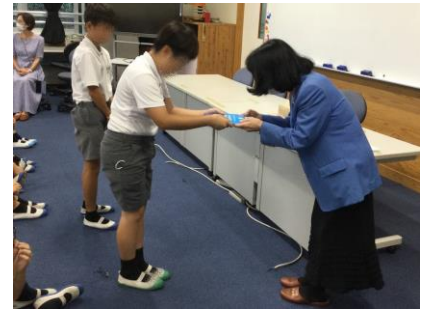


水検定テキスト贈呈式(5年生:7月12日)

熊本市は、地下水で市民の生活水を賄っているという世界でも珍しい都市です。しかもその上質で豊かな地下水は、様々な企業が求めてくるほどです。本校区は、そんな地下水が湧き出すところにあり、古のころから住民は水を大切にしてきました。

そのような水への関心を高め、大切にしていこうとする態度を養ってほしいとの願いをもって、水前寺公園ロータリークラブ様から、5年生の子どもたちに「水検定テキスト」が送られました。

私も見てみましたが、内容はとても難しいものです。検定は10月ごろに実施されるそうです。



家庭科ボランティア(5年生:7月12日)

家庭科では、裁縫や調理といった様々な実習がありますが、実際担任1人では対応しきれません。そこで、裁縫の「玉止め・玉結び」の学習に、地域のボランティアの方々が3名と保護者2名が来てくださいました。とても助かりますし、子どもたちも丁寧にやり方を学ぶことができます。今後もよろしくお願いします。



楽しい“おはし”講座(1年生:7月13日) (いい感じ)

地域のお住いの方の他2名(NPO 法人日本マナー・プロトコール協会)がお越しになり、1年生に正しい箸の持ち方や食卓でのマナーなどについて、ゲームを交えて楽しく教えてくださいました。

